J-オイルミルス フポート 20

J-オイルミルズ J-MILLS

Report 2021

お問い合わせ先:

株式会社 J・オイルミルズ

コーポレートコミュニケーション部

〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー

TEL: 03-5148-7101 FAX: 03-5148-7107

https://www.j-oil.com/







この印刷物は、 環境に配慮した資材と工場で 製造されています。



INDEX

企業理念体系	. 02
トップメッセージ	. 03
価値創造ストーリー	
SPECIAL CONTENTS ①	
鼎談(企業理念体系・ブランド戦略)	. 11
J-オイルミルズの歩みとこれから	. 15
第五期中期経営計画の軌跡	. 17
J-オイルミルズの価値創造モデル	. 19
J-オイルミルズのマテリアリティ	. 21
事業戦略	
SPECIAL CONTENTS ②	
鼎談(企業価値向上に向けた経営戦略)	. 23
J-オイルミルズの長期ビジョンと成長戦略	. 27
第六期中期経営計画の基本戦略	. 29
J-オイルミルズの事業概要	. 33
油脂事業	. 35
スペシャリティフード事業	. 36
価値創造事例	. 37
マテリアリティ報告	
マテリアリティ報告 SPECIAL CONTENTS ③	
SPECIAL CONTENTS ③	. 41
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化)	. 41 . 45
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営	. 41 . 45
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化)	. 41 . 45 . 47
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化)	. 41 . 45 . 47
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制 事業継続基盤 コーポレートガバナンスの強化	. 41 . 45 . 47 . 49
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制 事業継続基盤 コーポレートガバナンスの強化 リスクマネジメント	. 41 . 45 . 47 . 49
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制 事業継続基盤 コーポレートガバナンスの強化 リスクマネジメント サプライチェーンマネジメント	. 41 . 45 . 47 . 49 . 53
# SPECIAL CONTENTS ③ #	. 41 . 45 . 47 . 53 . 55 . 57
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制 事業継続基盤 コーポレートガバナンスの強化 リスクマネジメント サプライチェーンマネジメント 地域社会への貢献と協働/適時適切な情報開示 人財	. 41 . 45 . 47 . 53 . 55 . 57 . 59
### SPECIAL CONTENTS ③ ### (ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制 事業継続基盤 コーポレートガバナンスの強化 リスクマネジメント サプライチェーンマネジメント 地域社会への貢献と協働/適時適切な情報開示 人財 食を通じた健康への貢献	. 41 . 45 . 47 . 53 . 55 . 57 . 62
#	. 41 . 45 . 47 . 53 . 55 . 57 . 62 . 63
SPECIAL CONTENTS ③ 鼎談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制 事業継続基盤 コーポレートガバナンスの強化 リスクマネジメント サプライチェーンマネジメント 地域社会への貢献と協働/適時適切な情報開示 人財 食を通じた健康への貢献 環境負荷の抑制 食資源の維持	. 41 . 45 . 47 . 53 . 55 . 57 . 62 . 63
#談(ガバナンス・経営基盤強化) J-オイルミルズの事業とESG経営 役員体制	. 41 . 45 . 47 . 53 . 55 . 57 . 62 . 63

編集方針

本報告書はJ-オイルミルズグループの中長期的な企業価値向上 に向けた取り組みを紹介することを目的に発行しています。

2021年度版は、新たに策定した企業理念体系・第六期中期経営 計画と当社の事業戦略・ESGへの取り組み、ESG経営推進の結び つきを意識して構成しています。おいしさ×健康×低負荷に基づ き、事業・製品軸を中心に全社の方向性を示すとともに、存在意義 /パーパスを体現した事業ストーリーをお伝えすることを目的とし て作成いたしました。

また、さらなる活動推進や情報開示の高度化に向けて、今回も特 定非営利活動法人循環型社会研究会の山口氏より貴重なご意見 をいただき、巻末に掲載しています。

今後も当社グループの取り組みを報告し、ステークホルダーの皆 様とのコミュニケーションをさらに促進することを目指します。

報告対象期間

本レポートでは、当社グループの2020年度(2020年4月1日~ 2021年3月31日)の活動を主に報告しています。当該年度以外 の取り組みも一部掲載しています。

財務データは連結決算、環境データの範囲は、2018年度までは 国内の自社全生産拠点(千葉工場、横浜工場、静岡事業所、浅羽 工場、神戸工場、倉敷工場、若松工場)、2019年度からは国内の自 社全拠点およびグループ会社です。

発行年月日

2021年10月

参考としたガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
- · Global Reporting Initiative

「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード」

- · 一般財団法人日本規格協会
- 「ISO26000:2010社会的責任に関する手引」
- 国際統合報告評議会(IIRC)
- 「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省

「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

WEBサイトのご案内

本レポートは、従来投資家向けに発行してきた『ビジネスレポー ト』と、あらゆるステークホルダー向けに発行してきた『CSR報告 書』を一冊に統合し、当社の企業価値をトータルに報告するもの です。本レポートに掲載できない詳細データについては、当社の WEBサイトに公開しています。本レポートの報告内容は、当社の あらゆる活動の中でも、多くのステークホルダーにとって重要な 情報を優先しています。

- · IR情報 https://www.j-oil.com/ir/
- . サステナビリティ情報

https://www.j-oil.com/sustainability/

将来に関する予測・予想・計画について

本レポートに記載している将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基 づいて作成したものであり、事業環境の変化などにより結果が異なる可能性

企業理念体系

2021年4月に、私たちの目指すべき未来(ビジョン)、 私たちの使命(ミッション)、私たちの価値/存在意義(バリュー/パーパス)をあらわした 新たな企業理念体系を制定しました。

> 制定にあたっては、当社の「あるべき姿」について、 当社で働く皆が、それぞれの想いを込めて語り合いました。

目指すべき未来

植物から生まれる「あぶら」「でんぷん」「たんぱく」。 人が生きるために欠かせない3つの要素を活かして おいしさ、そして人々の健康、社会や環境の負荷抑制に貢献し、 未来のよろこびを増やしたい。 それが私たちが目指す未来「Joy for Life®」に込めた想いです。

私たちの使命

健康や環境の不安を気にせず、おいしい食事を楽しみたい。 おいしい料理をつくり、大切な人やお客様を笑顔にしたい。 その願いに応えるため、 私たちは独自の強み「おいしさデザイン®」で、 「食べる」よろこびと、 調理や生産する「つくる」よろこびも創造しながら、 食にまつわる健康・環境・食資源などの課題に真摯に向き合い、 よりよい社会に貢献します。

私たちの価値/存在意義

どんな時も領域や常識、限界の壁を越え 仲間とつながり、共に挑戦します。 その先にいる人々の期待を超えて まだどこにもない価値を創るために。

その価値と行動の基盤として 生活に欠かせないあぶらの提供を原点に、 自然の恵みから可能性を引き出し 人に直摯に寄り添い貢献していくという 私たちの存在意義を忘れず食を支え続けます。



おいしさ × 健康 × 低負荷で (々と社会と環境へのよろこびを創出

おいしさデザイン。で 「食べる」と「つくる」の 課題と向き合い より良い社会に貢献する

壁を越え、共に挑み、期待を超える

個の力を高める 独自の価値を創る 仲間と価値を広げる 知と技の融合 強みの掛け算 共生・共創

真面目に一歩踏み出す 人に寄り添い自己も活かす

真摯に冒険 尊重と自信

生活に欠かせないあぶらを原点に 自然の恵みから可能性を引き出し 確かな品質で食を支え続ける

